

「東日本大震災 SAGASO (相模原総合高校) Cheering Project 2011」

～岩手県大船渡市の子ども達にクリスマス・プレゼントを贈りました～

1. 活動の概要

東日本大震災後、企業や著名人により多額の義援金送付の報道がありました。私たちが高校生でも「全校生徒」が力を合わせ、できることを「継続」して行えば、「大きな支援活動ができるのではないかな？」と考え、生徒会本部が中心となり、『東日本大震災 SAGASO (相模原総合高校) Cheering Project』を立ち上げました。

支援活動は、本校所在地の相模原市と友好関係にある岩手県大船渡市の子ども達が必要としている品物を贈ることとし、購入するための費用として義援金 50 万円を集めることを目標としました。

4月より、「自分たちでできることは何か？」と試行錯誤しながら様々なプロジェクトを考え、全校生徒が力を合わせ、11月までの8ヶ月間、支援活動に取り組みました。

【実施プロジェクト】

NO	内容	実施月	義援金
①	第1回生徒会街頭募金活動	5月	175,623円
②	第2回生徒会街頭募金活動	6月	149,008円
③	チャリティーライブ	6月	38,978円
④	体育祭で募金活動	6月	8,039円
⑤	フリーマーケットへ出店	7月	35,778円
⑥	チャリティーコンサート	9月	100,065円
⑦	文化祭売上げから義援金	10月	98,695円
⑧	文化祭資源ゴミを義援金	10月	5,954円
⑨	運動部有志街頭募金活動	11月	285,377円

* その他校内募金等 32,725円

義援金合計 930,269円



全校生徒より集めた約300点の品物を販売

2. 活動の成果等

8ヶ月間、全校生徒の「子ども達の力になりたい」との強い志と、多くの方々のご協力・ご支援により、目標金額 (50 万円) を大きく上回る 930,269 円 の義援金を集めることができました。

集まった義援金について、大船渡市の教育委員会に連絡したところ、震災で校舎が全壊し、現在、蛸ノ浦小学校で合同授業を行っている「赤崎小学校」へ物資を支援してほしいとのことでしたので、必要としている品物 (総額約 90 万円) を購入し、クリスマス・プレゼントとして、子ども達に贈りました。

また、品物とあわせて、私たちの思いを入れた「応援幕」と、赤崎小・蛸ノ浦小の全校生徒 (194 名) に応援メッセージを入れた「手作りのクリスマスカード」と「サンタのチョコレート」も贈りました。

【支援先】

「岩手県大船渡市立赤崎小学校 (全校生徒 129 名)」

* 震災により校舎・体育館全壊。現在、蛸ノ浦小学校 (65 名) で合同授業を実施。

【支援物資】

① 体育用具 (体づくりの用具、ワリ-ジョブ-用具)

* 運動場が仮設住宅により使用不可のため、室内で楽しみながら体づくりができる体育用具の依頼がありました。

② 簡易放送器材一式 (ホ-ブルアップ・スピーカー・マイク)

* 震災により既存していた機材は使用不可。体育館での集会や学校行事で使用

③ 応援幕 (90cm×500cm)

④ 「手作りのクリスマスカード」と「サンタのチョコ」



心を入れて一枚一枚作成したクリスマスカード

☆ 「SAGASO Cheering Project」を終えて…
生徒会本部のディレクター

私たちは4月から全校生徒をあげて様々な震災支援活動に取り組んできました。街頭募金活動やフリーマーケット、チャリティーライブ、チャリティーコンサートなど、私たちが「できることは何か？」と試行錯誤しながらの8ヶ月間でした。街頭募金活動では地域の方々の暖かさを感じ、フリーマーケットでは全校生徒の「大船渡の子ども達のために自分たちができることをしたい」という強い気持ちを感じることができました。

「大船渡の子ども達のお役に立ちたい」と始めた活動でしたが、私たち自身が多くの事を学ぶ貴重な経験になったと思います。

目標を大きく上回る義援金を集めることができたのは、多くの方々の支えがあったからこそだと思います。私たち生徒会の力だけでは絶対にやり遂げることはできない活動でした。本当に感謝しています。

この義援金で、少しでも大船渡の子ども達が笑顔になり、その笑顔が周りの人たちに広がってくれることを願います。

私たちの「Cheering Project」は終了しましたが、今までの経験を忘れずに、これからも自分たちができることを続けていきたいと思っています。



運動部有志による3回目の街頭募金活動

☆ 初めての募金活動 バドミントン部

初めての募金活動をしましたが、多くの方々が募金をしてくださって、暖かな気持ちになりました。

募金をしながら応援してくれる方々も大勢いて、私たちの方が元気をもらいました。本当に貴重な経験になり、参加してよかったです。

被災地の子どもたちにお役に立てるよう、今後も、このような活動を是非続けていきたいです。

☆ 赤崎小学校の子ども達から

赤崎小学校の6年生より約 70 通のお礼の手紙とクリスマスカードをいただきました。

私たちの大船渡市の子ども達を応援する気持ちが伝わっていたことを感謝するとともに、本当にプロジェクトを企画して良かったと思いました。

一部ですが、手紙を紹介します。

私たちにクリスマスカードとチョコレートを送ってくださって、ありがとうございました。一つ一つの手作りのカードには感動しました。

津波が来てから私たちは避難所で、にぎりこぶし一つない小さなおにぎりを、一日一個の生活でした。

しかし、今はたくさんの配給を送ってくださり、今は元気に毎日を送っています。

私たちも相模原の皆さんのように誰かを喜ばせられる人になりたいです。

クリスマスカードとチョコ、ありがとうございました。カードはとてもかわいらしくきれいでした。それと一緒にあったメッセージを見て、とても元気をもらいました。

震災をうけた大船渡は日々復興へと進んでいます。昔あった店がやり始めたり、新しく店が出たり、今度はどんな店が開店するか楽しみです。

でも、私の家では、家は無事だったんですけど、津波でお母さんを亡くしてしまいました。

しかし、震災後の人々は、とても優しく、なぐさめてくれます。その人達へ恩返しをしたいと思っています。そこで、私は人の役に立つ介護関係の仕事につきたいと思っています。

本当にメッセージとチョコありがとうございました。



応援幕と赤崎小の子どもたち

「東日本大震災 SAGASO Cheering Project 2012」

☆ 2012年3月11日… 震災から一年が過ぎましたが、テレビなどで被災地の様子を見ると、復興が思うように進まない地域が多くあり、また、もとの生活にはほど遠く仮設住宅に住まわれている方が大勢いらっしゃいました。その一方で、募金活動などあちこちで行われていた支援活動が、大きく縮小している事を感じました。

そこで相模原総合高校生徒会では、当初一年間で支援活動を終わる予定でしたが、「まだまだ終われない」「今だからこそ」との思いから、昨年度に引き続き「SAGASO Cheering Project 2012」を立ち上げました。

今年度も、「自分たちでできること」を考え、被災地の子どもたちの「笑顔」のために全校生徒で活動していきます。

早速、6月の体育祭で、調理同好会の「クッキー」の販売と、生徒会・評議委員による「ジュース」の販売により、義援金を集めました。

また、陸上競技部と生徒会本部生徒により、橋本駅前で街頭募金活動を行いました。震災から一年が過ぎたのにもかかわらず、約19万円の義援金が集まりました。



- 前日から、約1000枚のクッキーを作りましたが、当日、あっという間に売り切れました。まぼろしの「クッキー」となりました。
- 1000本のジュースを売りました。



- お年寄りから、小さな子どもたちまで大勢の人々が募金をしてくれました。